

著作目録

一、自 著

- ・富士日興門下教団分裂略史 興隆学林出版部 昭和三十七年四月
 - ・宗教革命家 南海の聖 日典上人 昭和四十八年八月
 - ・日典上人 法華経種子島殉難の聖 大本山本興寺 昭和四十八年 再版昭和五十五年
 - ・教団七百年のあゆみ―かけ足でふりかえる― 大本山本興寺 昭和五十六年四月
 - ・こころ華ひらく 書苑新社 昭和六十年四月
 - ・「道心堅固」写真で見る松井日宏上人の生涯 東方出版 平成三年六月
 - ・南海の聖日典上人伝 東方出版 平成五年五月
 - ・日良法印伝 法華宗宗務院 平成六年十一月
- 一、共 著
- ・法華宗年表 法華宗宗門史編纂委員会 昭和四十七年五月
 - ・日隆聖人御絵伝 法華宗宗務院 昭和六十年五月
 - ・法華宗宗門史 法華宗宗務院 昭和六十三年十二月

一、論 文

- ・日隆聖人と中古天台学 隆門論叢 第一輯 昭和三十五年十月
- ・富士日興門下教団分裂略史 桂林学叢 第二号 昭和三十六年四月
- ・法華宗本門弘經抄管見 同 第四号 昭和三十八年五月
- ・下種の研究 其の一 同 第五号 昭和四十年七月
- ・下種の研究 其の二 同 第六号 昭和四十五年八月
- ・四十五字法体論管見 同 第七号 昭和四十八年八月
- ・本能寺金剛院日增上人 宗門史談 創刊号 昭和四十八年十月
- ・種子島日典殉教考 印度学仏教学研究 第二十二卷 昭和四十九年三月
- ・日隆聖人門下六老私考 宗門史談 第二号 昭和四十九年五月
- ・下種の研究 其の三 即身成仏論 桂林学叢 第八号 昭和四十九年九月
- ・薩摩及び種子島における法華宗の廃仏毀釈について 同 第九号 昭和五十一年七月
- ・屋久島如竹法華僧考 印度学仏教学研究 第二十四卷 昭和五十年十二月
- ・法華宗が種子島に於て被った廃仏毀釈と復興 同 第二十五卷 昭和五十一年十二月
- ・屋久島における法華宗の廃仏毀釈と復興 桂林学叢 第十号 昭和五十三年三月
- ・八品派と富士派の交流(室町期) 大崎学報 第一三二号 昭和五十三年九月
- ・日隆聖人の本迹実相論 株橋先生古稀記念 法華思想と日隆教学所収 昭和五十四年十一月
- ・宗門史叙述管見―ポール・ヴェーヌの歴史観に立って― 興隆学林紀要 第七号 平成五年三月

- ・ 儒僧の泊如竹日章 桂林学叢 第十六号 平成九年七月
- ・ 宗門史編纂の周辺 法華宗教学研究発表大会第十回記念論集 平成九年十月
- ・ 儒僧の泊如竹日章(再録) 法華宗研究論集 法華宗宗務院 平成二十四年九月

一、法話、対談

〈無上道誌〉

- ・ 法華經と天台大師 昭和三十一年一月
- ・ 法華經と天台大師 (二) 昭和三十一年二月
- ・ 法華經と天台大師 (三) 昭和三十一年三月
- ・ 法華經と天台大師 (完) 昭和三十一年四月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり 昭和三十一年七月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (二) 昭和三十一年八月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (三) 昭和三十一年九月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (四) 昭和三十一年十月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (五) 昭和三十一年十二月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (六) 昭和三十一年一月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (七) 昭和三十一年二月
- ・ 南無妙法蓮華經とは生きることなり (八) 昭和三十一年四月

- ・南無妙法蓮華經とは生きることなり(九) 昭和三十二年五月
- ・南無妙法蓮華經とは生きることなり(十) 昭和三十二年六月
- ・南無妙法蓮華經とは生きることなり(十一) 昭和三十二年七月
- ・南無妙法蓮華經とは生きることなり(終) 昭和三十二年八月
- ・日典上人の恩師 日隆聖人のお人から 昭和三十七年四月
- ・巻頭言 昭和四十九年二月
- ・巻頭言 昭和四十九年三月
- ・巻頭言 昭和四十九年四月
- ・巻頭言 昭和四十九年五月
- ・巻頭言 昭和四十九年六月
- ・日増上人の弘通 同
- ・巻頭言 昭和四十九年七月
- ・巻頭言 昭和四十九年八月
- ・巻頭言 昭和四十九年九月
- ・巻頭言 昭和四十九年十月
- ・巻頭言 昭和四十九年十一月
- ・巻頭言 昭和四十九年十二月
- ・日蓮聖人と道善御房 昭和五十年七月

- ・ローマ法王パウロ六世と会う（上） 昭和五十一年四月
- ・ヨーロッパ宗教事情視察（中） 昭和五十一年五月
- ・ヨーロッパ宗教事情視察（下） 昭和五十一年六月
- ・特集「生きがい」 昭和五十二年一月
- ・特集 死を考える 死（一） 昭和五十二年十一月
- ・死を考える 死（二） 昭和五十二年十二月
- ・ああ日典上人 昭和五十三年四月
- ・北海道の法華宗寺院の創立を訪ねて 昭和五十四年五月
- ・新春対談「松井孝純学監と藤田まこと」 昭和五十五年一月
- ・新春特別法話 昭和五十六年一月
- ・教団七〇〇年のあゆみ 昭和五十六年二月
- ・教団七〇〇年のあゆみ（下） 昭和五十六年三月
- ・巻頭法話 昭和五十七年一月
- ・第四百号発刊を祝す 昭和五十七年四月
- ・新春を迎え自我偈に思う 昭和五十八年一月
- ・新春を迎え日蓮大聖人の年始の言葉に思う 昭和五十九年二月
- ・日隆聖人御生誕六百年祭を迎えた丑歳 昭和六十年一月
- ・報恩 昭和六十年十月

- ・報恩 昭和六十年十一月
- ・四五〇号発刊に当たり 昭和六十一年六月
- ・立教開宗七百五十年に向かつて 昭和六十二年四月
- ・「観心本尊抄講義」下巻 刊行にあたり 昭和六十二年七月
- ・年頭法話「辰（龍）歳を迎う」 昭和六十三年一月
- ・口永良部島開教五百年 遺徳顕彰碑建立にあたり 昭和六十三年三月
- ・法華宗では幻の儒僧 泊如竹（上） 昭和六十三年十月
- ・法華宗では幻の儒僧 泊如竹（下） 昭和六十三年十一月
- ・松井宗務総長大いに語る（上） 昭和六十四年一月
- ・松井宗務総長大いに語る（下） 平成元年二月
- ・地涌の菩薩 平成二年八月
- ・節分法話 節分会を迎えて厄年を思う 平成三年二月
- ・五十周年のもつ意義を考える 平成三年六月
- ・わかりやすい信者の手引き 平成四年五月
- ・わかりやすい信者の手引き（一） 平成四年六月
- ・わかりやすい信者の手引き（二） 平成四年七月
- ・わかりやすい信者の手引き（三） 平成四年八月
- ・わかりやすい信者の手引き（四） 平成四年九月
- ・私の尊敬する松本日宗上人（お通夜） 平成四年九月

- ・ わかりやすい信者の手引き (五) 平成四年十月
- ・ わかりやすい信者の手引き (六) 平成四年十一月
- ・ わかりやすい信者の手引き (七) 平成四年十二月
- ・ わかりやすい信者の手引き (八) 平成五年一月
- ・ わかりやすい信者の手引き (九) 平成五年二月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十) 平成五年三月
- ・ 伊豆の法難を悦び嘆く 平成五年五月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十一) 同
- ・ わかりやすい信者の手引き (十二) 平成五年七月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十三) 平成五年八月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十四) 平成五年十一月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十五) 平成五年十二月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十六) 平成六年一月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十七) 平成六年二月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十八) 平成六年三月
- ・ わかりやすい信者の手引き (十九) 平成六年四月
- ・ 南海の聖〈日良法印伝〉 平成六年五月
- ・ 南海の聖〈日良法印伝〉 平成六年六月

- ・南海の聖〈日良法印伝〉 平成六年七月
- ・南海の聖〈日良法印伝〉 平成六年八月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十) 平成六年九月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十一) 平成六年十月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十二) 平成六年十一月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十三) 平成六年十二月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十四) 平成七年二月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十五) 平成七年三月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十六) 平成七年四月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十七) 平成七年五月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十八) 平成七年六月
- ・わかりやすい信者の手引き (二十九) 平成七年七月
- ・わかりやすい信者の手引き (三十) 平成七年八月
- ・わかりやすい信者の手引き (三十一) 平成七年九月
- ・崇高な護法愛宗の篤信者 嗚呼、原真平先生の生涯を追憶 (一) 同
- ・崇高な護法愛宗の篤信者 嗚呼、原真平先生の生涯を追憶 (二) 平成七年十月
- ・わかりやすい信者の手引き (完) 平成七年十二月
- ・宮澤賢治の思想と行動 (上) 平成八年九月

- ・宮澤賢治の思想と行動（中） 平成八年十月
- ・宮澤賢治の思想と行動（下） 平成八年十一月
- ・日隆聖人の御霊場に昇山して 平成十年四月
- ・祝 六月号発刊に寄せて 平成十年十二月
- ・信心ナビゲーター「因縁果報」 平成十六年九月

〈VHSビデオ〉

- ・「いつか来た道」宗教法人法「改正」を糾す（Ⅲ）宗教者編 平成七年十月 中外日報社出版局

一、想い出の記

- ・学恩懺悔 桂林学叢 第十三号（株橋日浦先生追悼号） 昭和六十年十月
- ・宗門史編纂と日宏上人 興隆学林紀要 第二号（松井日宏先生追悼号） 昭和六十三年三月
- ・田村芳朗先生を憶う 桂林学叢 第十五号（田村芳朗先生追悼号） 平成六年三月
- ・松本日宗・桃井観城両先生の思い出 桂林学叢 第十八号（松本日宗・桃井観城両先生追悼号） 平成十五年九月